

～経営インパクトは把握されていますか？～

時価の算定に関する会計基準の変更に伴う、市場系補助簿の構築と経営シミュレーションのご紹介

オラクルは、クラウドを中心に企業向けに様々なソリューションを提供する企業です。かつて、データベース中心だったソリューションの幅を拡大し、現在では、クラウドを中心に、データ活用を支援する企業へと変革を遂げています。今年からは、インダストリーにフォーカスし、業界の特性に合わせて、適切なソリューションを提供することを目指しています。



金融業界におけるオラクルの位置付け

オラクルは、金融業界向けのソリューション開発を適切に行うため、金融業界に特化した製品企画・開発を行う組織があります。金融規制動向や業界動向などをグローバルで研究し、どの企業よりも早く製品開発・販売に結びつける体制を整えています。特に、コアバンキング領域や経営管理領域（リスク管理など）では、グローバルでも高いシェアを誇り、1万人を超える要員が従事しています。これらの金融特化型と連携する形で、ERPや人事管理、顧客管理領域でのソリューションを提供し、金融機関の全ての領域でご活用いただけるものを提供しています。特に、ERP領域では、多くのユーザーにご活用いただき、国内の大手金融機関の8割以上にご活用いただいている状況です。

AGILE FINANCE AND RISK / ソリューションラインナップ^o

オラクルは、金融機関様向けに Agile Finance and Risk という経営管理コンセプトを紹介しています。金融機関の複雑なデータソースを一元化し、金融規制対応や一般会計レポートなどを自動化することを目指しています。

グループ・グローバルシェアードサービス

デイリークローズ 日次経営管理

リモートワーク 購買管理・経費精算

プロジェクト管理・IT 予算管理

IFRS 対応 - IFRS9 号、IFRS17 号

自動照合

サブスクリプションマネジメント

IFRS13 適用へ向けた対応

2021年4月より企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」における金融商品の評価手法が変わりレベル別の評価が必要となります。

これにより、金融機関における証券部門ではレベル区分における評価損益に関するインパクト推計が必要となり、その影響度を財務部門および経営者と密接に連携することが重要です。

しかしながら、膨大な証券取引において、レベル区分の変更影響シミュレーションは多大な手作業が発生し、新たな業務課題となっているのではないのでしょうか。

オラクルでは市場系補助簿のご提供を通じて、全ての証券取引把握と任意のパターンにおけるレベル区分別のシミュレーションが可能となります。

オラクルの市場系補助簿ソリューションによる効果

オラクルソリューションにより、金融機関における証券部門は常に取引状況の把握と経営シミュレーションが可能となり、財務部門や経営者により早い経営判断材料を共有することが可能となります。また、証券取引データが集約されることで属性分析も可能となります。

オラクルソリューションの特長

- ・制限のない元帳管理が可能（あらゆるパターンの元帳を保持）、
- ・レベル区分別シミュレーションの実行、補正

オラクルの事例・実績

オラクルは、大手金融機関に置いて多数の実績がありますが、当該領域で導入している企業は、5社となります。規制対応だけでなく有価証券運用における分析軸としても活用いただいております。

*OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。 Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

日本オラクル株式会社 〒107-0061 東京都港区北青山2-5-8 オラクル青山センター oracle.com/jp

お問い合わせ窓口



TEL 0120-155-096

受付時間 月～金 9:00-12:00/13:00-17:00 (祝日および年末年始休業日を除きます)

URL oracle.com/jp/contact-us

